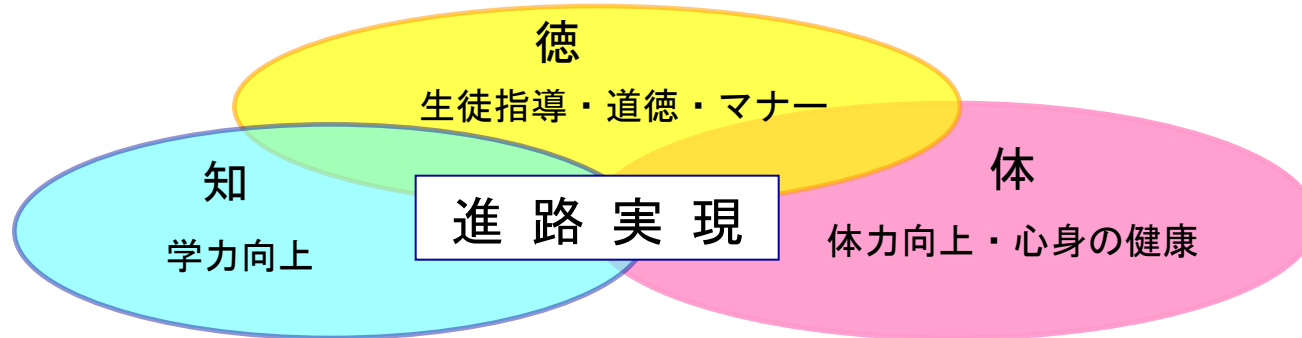


埼玉県立上尾鷹の台高校 中期構想
第2期鷹の台プラン（平成26年度～平成28年度）

〈基本理念〉 学力を伸ばし、思いやりとすこやかな体を育む



5つの基本目標と3年後の到達目標等

1 基礎・基本を大切にし、自ら学ぶ力の育成

- 授業評価や授業研究を行い、授業のレベルアップを図ります。
- 鷹の台高校「ようよう夢プラン(学力・体力向上計画)」を推進します。

[3年後の到達目標]

- ・授業に意欲的に取り組んでいる生徒の割合 90%以上
- ・学力の伸長を実感できた生徒の割合 90%以上
- ・埼玉県高校生専門資格等表彰制度による表彰者 20人以上

〈主な方策〉

- ・授業評価(授業アンケート)を活用し、PDCAサイクルで授業改善を行う。
- ・校内公開授業や授業に関する研修会を行う。
- ・資格取得試験の合格を目指して取り組む。
- ・「ようよう夢プラン特別講座」を年間5回以上行う。

※PDCAサイクルとは、Plan(計画)、Do(実行、実践)、Check(点検、評価)、Action(改善)の4つの段階を繰り返し、次回の計画に生かすことである。

2 志を高くもち、自らの生き方を考える力の育成

- 卒業後の進路を見据えた進路指導のさらなる充実を図ります。
- 社会情勢を知り、自らの生き方を考えるキャリア教育(A T Dプロジェクト)を推進します。

[3年後の到達目標]

- ・進路実現に向けて積極的に取り組んだ生徒の割合 1年70% 2年80% 3年90%
- ・大学等の公募制推薦や一般受験の合格者数の増加 ・就職内定率 100%

〈主な方策〉

- ・大学や企業等と連携し、進路ガイダンスや就業体験を計画的に行う。
- ・進路分野別説明会や卒業生による進路講演会など計画的、組織的に進路指導を進める。
- ・生徒が主体的に進路学習に取り組めるキャリア研究ノートを活用する。
- ・生徒が自ら進路研究に取り組めるよう、進路情報を効果的に発信する。

3 礼節を重んじ、他者を尊重する心の育成

- 進路指導と連携した生徒指導を行います。
- 思いやりの心や他者とともに生きる態度を育成します。

[3年後の到達目標]

- ・けじめがあり、充実した高校生活を送っていると思う生徒の割合 90%以上
- ・相手の立場を思いやり、誠実に行動できる生徒の割合 90%以上
- ・皆勤及び無遅刻の生徒の増加

〈主な方策〉

- ・在り方生き方を考えさせ、積極的な生徒指導を継続する。
- ・計画的にマナーアップキャンペーン(あいさつ、身だしなみ、交通安全)を実施する。
- ・人権感覚育成プログラムやいじめ防止のための調査を定期的に行う。
- ・教職員や保護者自らが明るいあいさつを励行し、人権尊重の模範となる。

4 心身ともにたくましい人間の育成

- 一人一人の個性を尊重した人間教育を行います。
- よりよい人間関係を形成する力を養うとともに、コミュニケーション能力を育成します。

[3年後の到達目標]

- ・文化祭、体育祭やマラソン大会などの行事に意欲的に取り組んでいる生徒の割合 85%
- ・部活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合 90%以上
- ・各部活動の目標達成

〈主な方策〉

- ・活動の成果を確認する場(練習試合、発表会等)を増やす。
- ・各種講習会(AED、救急法、防火防災など)を実施する。

5 地域・社会とともに生きる心の育成

- ボランティア活動に積極的に取り組みます。
- 地域との連携をさらに強固にします。

[3年後の到達目標]

- ・地域との交流に参加する生徒の増加 10%増
- ・生徒による美化活動の定着

〈主な方策〉

- ・小・中学校と連携した活動を計画的に行う。
- ・全校生徒が校外での美化活動を行う。
- ・上尾市や自治会と連携し、減災や防災のための体制を整える。

※減災とは、災害による被害をできるだけ小さくする取組のことである。